

## 学会長挨拶

経営学部長 岩崎大介

朝日大学経営学会は創立25周年を無事迎えることができました。この間日本は高度経済成長後の安定からバブルを経て、空白の20年ともいえる成長の停滞を経験しました。平時の混迷とも言えるこの時代に、情報化の進展とともにアメリカから持ち込まれた多くの経営理論が試され日本企業の生産性への貢献が期待されましたが、未だ十分な成果を上げているとは言えません。



戦略や制度といった表面だけを上から導入するだけの先例模倣では成果には結びつかない時代ようです。また、地方の活性化はグローバル企業のそれとは異なります。産業が勃興した明治期には多くの独自性を持った起業家が地域経済を支えたことは広く知られています。今回はこの厳しい環境下にしぶとく商品開発や経営管理の難問を乗り越えた地元優良企業の、徹底して考える姿勢に学ぶ機会を準備させていただきました。ここでの問題提起から若者の本気に火がつけば、多くの挑戦と地元の誇りが生まれるものと思います。

今後とも地域に貢献できる研究を続けていく場として経営学会にご助力下さいますようお願いいたします。

## 記念講演会

講演者：浅野雅己様（浅野燃糸株式会社代表取締役社長）

## 演題 「この泥あればこそ咲け蓮の花」

### 要旨

「地方・零細・下請け・斜陽」の4条件下で、夢を追い続ける町工場経営者の生き様をノンフィクションで語ります。

嘗て、愛知・岐阜両県は、日本を、世界を、代表する繊維産地でした。1970年前後、アメリカニュー Yorker の4人中3人は、尾州産生地のスーツを着ていました。

今、その産地が崩壊寸前に。1967年創業の浅野燃糸は、幾多の荒波をくぐり抜け、1990年代には、最新マシンと複合燃糸技術で日本を代表する燃糸会社として、業界の風雲児としてもはやされました。しかし、2000年代に入って繊維産業のことごとくがその生産を中国へ。

2002年、廃業を計理士や銀行から迫られたが、周りの反対を押しきり2003年元旦、継続を決断。ついに地獄の一丁目に足を踏み入れてしまった…。

## 講演者プロフィール

あさの まさみ

浅野雅己 昭和35年4月11日生まれ。

現職 浅野燃糸株式会社 代表取締役社長

受賞歴 平成25年 第5回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」受賞  
平成26年 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」受賞  
平成26年 第28回中日産業技術賞「特別奨励賞」受賞



## 会社概要

浅野燃糸は、1967年地元紡績の下請けとして産声をあげました。円高進行とともに地元紡績が次々と廃業する中、複合燃糸技術に磨きをかけ、1990年代には全国屈指の燃糸工場へと成長しました。しかし、東西冷戦の終結と共に中国での繊維製造が一気に加速、2000年には国内繊維産業が壊滅的打撃を受けました。浅野燃糸も例外ではなく、2003年には廃業も視野に置き、大幅な生産規模縮小と特許技術の開発に舵をきりました。そして、2004年には魔法の燃糸「スーパーゼロ」の開発に成功、2005年より魔法のタオルの開発に着手しました。そして2007年6月、魔法のタオル「エアーカーおる」がデビュー、現在に至ります。

- 創業 1967年11月
- 資本金 1,000万円
- 年商 7億7,000万円(27年10月期)
- 社員数 34名(内パート10名)
- 職種 燃糸加工業 糸販売業 タオル類販売業
- 主な取引先 クラレトレーディング 信友 東レインターナショナル おぼろタオル 同南商事 伊藤忠商事
- 本社住所 岐阜県安八郡安八町南條875番地

## 式次第

- 14:00～ 経営学会25周年記念式典
- 一. 開式の辞
  - 一. 経営学会長挨拶
  - 一. 来賓祝辞
  - 一. 記念ポスター展表彰
  - 一. 記念品披露
  - 一. 閉式の辞
- 14:40～ 記念講演会
- 一. 記念講演
  - 一. 座談会
- 17:00～ 懇親会

## Access Map



### 交通機関

- JR東海道本線「穂積駅」下車、スクールバス「朝日大学」行約5分又は徒歩約20分
- 新幹線「岐阜羽島駅」下車、車で約20分
- 名神・岐阜羽島I.C.から、車で約20分、又は名神・大垣I.C.から約30分（国道21号線、岐阜県庁から西へ約5分）

# 朝日大学経営学会 25周年行事

2016.11.19(土) 14:00-18:00

朝日大学経営学会

25 1991～2016  
周年